

不登校の現実をめぐる一考察

— 階層の視点からみえてくること —

笹倉千佳弘 (就実短期大学)

A Study of Reality of Long-Term Absence : Through the Viewpoint of the Hierarchy

Chikahiro SASAKURA (Shujitsu Junior College)

抄 録

本稿では、不登校の議論を例にして、階層を視野に入れた教育の現実について論じた。不登校がどの子どもにも起こりえるということは、どの階層の子どもであっても不登校になり得るということである。そうであるならば、不登校一般として議論するのではなく、階層差を組み込んだていねいな考察が求められる。そして、階層の視点を組み込んでみえてきた現実に対してどのように向き合うかというところに、それぞれの人の社会的立場性が反映されているだろう。

キーワード：教育，不登校，階層